

SNS利用におけるリスク認知および読者層認知が個人情報公開に及ぼす影響

— XとInstagramの比較から —

武山 桜羽・脇山 莉奈



問題と目的

SNSは個人情報の漏洩やネット犯罪に巻き込まれる危険性がありため個人情報の取り扱いに注意すべき！と言われている

しかし…不用意な記事投稿が多い！

その行動にはSNSの種類によって違いがある！？

<目的>

XとInstagramで利用リスク推定および読者層認知、個人情報公開の程度に差があるのかを検討

<仮説>

- 1-1: SNSの種類にかかわらず、**自己リスク<他者リスク**
- 1-2: **自己リスク・他者リスク**にかかわらず、**X>Instagram**
- 2: Xでは**遠くのつながり**、Instagramでは**近くのつながり**を意識する。
- 3-1: **X<Instagram**の方が個人情報公開の程度が多い。
- 3-2: 記入欄の区別、Xでは**投稿内容<プロフィール欄**
Instagramは**投稿内容>プロフィール欄**

用語説明

利用リスク推定: SNS利用で犯罪等に巻き込まれる可能性がどの程度あると考えているか。

(対象が自分/他人→**自己リスク/他者リスク**)

読者層認知: SNS上で、どのようなユーザーにどの程度自分の投稿が見られていると意識して投稿を行なうか。

近くのつながり
友人
旧友
家族親族

遠くのつながり
交流ありフォロワー
面識なしフォロワー
フォロワー以外

方法

1.分析対象者: 本学の学生110名

2.質問紙の構成:

- ① SNSの利用状況を問う質問項目
 - ② 利用リスク推定(木村,2019)
 - ③ 読者層認知(木村,2019)
 - ④ 個人情報公開の程度(澤田ら,2020)
- ※XとInstagramのそれぞれについて質問

	Instagram				合計		
	公開	非公開	公開	非公開			
公開	投稿あり	3	14	2	2	49	
	投稿なし	7	6	2	0	15	
X	投稿あり	4	0	7	2	0	13
	投稿なし	4	0	12	4	1	21
非所持	1	2	7	0	1	12	
合計	44	11	42	8	5		

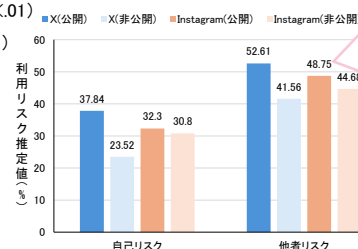
結果と考察

①利用リスク推定(3要因分散分析)

分析対象はどちらも同じプライバシー設定にしている人

- ・「リスク」の主効果:**自己リスク<他者リスク** ($F(1,67)=50.85, p<.01$)
- ・「SNS」と「プライバシー設定」の交互作用 ($F(1,67)=6.96, p<.01$)
- 下位検定を実施
- ・Xにおける「プライバシー設定」の効果: 非公開<公開 ($F(1,67)=6.38, p<.05$)
- ・公開設定における「SNS」の効果: **Instagram<X** ($F(1,67)=4.33, p<.05$)

→ プライバシー設定を公開にしている利用者のXアカウントで最も利用リスクが高く推定されている



仮説1-1支持 → 自己リスク

の楽観視が生じたためだと考えられる。

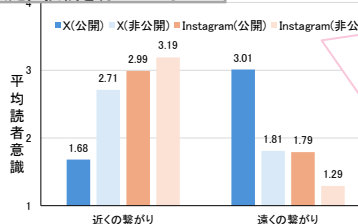
仮説1-2支持 → Xは人の炎上やトラブルについての投稿が多く回ってくるため、トラブルを身近に感じる機会が多く、利用リスクを高く見積もったのではないかと考えられる。

②読者層認知(3要因分散分析)

分析対象はどちらも同じプライバシー設定で投稿を行っている人

- ・「SNS」と「読者層」の交互作用 ($F(1,33)=17.26, p<.01$)
- 下位検定を実施
- ・**近くのつながり**の意識: **X<Instagram** ($F(1,33)=8.14, p<.01$)
- ・**遠くのつながり**の意識: **X>Instagram** ($F(1,33)=12.74, p<.001$)

→ XはInstagramより**遠くのつながり**、InstagramはXより**近くのつながり**をより意識している



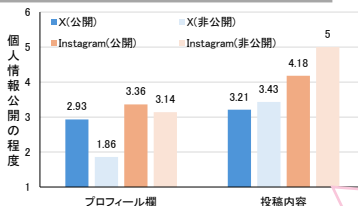
仮説2支持 → Xは高い拡散力があり、精度の高いテキスト検索が可能のため不特定多数の人が自分の投稿を目にする可能性がある。一方で、Instagramには他者の投稿を自分のタイムラインに直接共有するシェア機能がなく検索の精度が低いことから、**近くのつながり**をより意識した利用がなされやすいのだと考えられる。

③個人情報公開の程度(3要因分散分析)

分析対象はどちらも同じプライバシー設定で投稿を行っている人

- ・「SNS」の主効果: **X<Instagram** ($F(1,33)=8.80, p<.01$)
- ・「記入欄」の主効果: **プロフィール欄<投稿内容** ($F(1,33)=3.06, p<.001$)

→ Xと比べてInstagram、**プロフィール欄**と比べて**投稿内容**の方が個人情報記載の程度が多い



仮説3-1支持 → Instagramが写真の投稿に特化しているためではないか。事前調査で写真には様々な個人情報が含まれていることが分かった。

仮説3-2はInstagramのみ支持 → 対象が女子大学生であったためではないか。**プロフィール欄**をたくさん書かず、あえて絵文字等で書くことが流行しているため。

まとめ

個人情報はInstagramの投稿内容での開示が最も多い。また、利用リスクをXより低く推定しており、近くのつながりをより意識していることがわかった。

→ 個人情報を投稿した写真から読み取られてしまう可能性がある！

また、友人だけに見せているつもりが、見知らぬ他者にもみられているかも…

SNSを安全に使用するためには…

住所や本名などが意図せずSNS上に晒されてしまうことがないように

注意をもって取り扱うことが大切！

具体的に

- ・ぼかしやトリミングなどの加工を行う
- ・投稿する前に写真を見直す

